

## 日本大学生物資源科学部(学士(生物資源学))の卒業の認定並びに教育課程の編成及び実施に関する方針

### 【卒業の認定に関する方針】

日本大学生物資源科学部は、「日本大学教育憲章」に則り、日本や国際社会が直面している生命・食料・資源・環境に関するさまざまな問題を発見・解決し、科学・技術の持続的な発展に貢献することを基本理念としている。また、生物資源の生産と利用に関する科学(以下「生産・利用科学」)、「生命科学」、「環境科学」の三分野を基軸とした生物資源科学に関する幅広い知識と高い専門性、豊かな教養、人間活動に関する深い洞察力、高い倫理観を身につけた人材の育成を教育目標としている。生物資源科学部では、これらの基本理念と教育目標に基づき、「日本大学マインド」と「自主創造」の能力を身につけ、かつ各学科の教育研究上の目的に対して設定された卒業要件を満たす者に、学士(生物資源学)の学位を授与する。

### 【教育課程の編成及び実施に関する方針】

日本大学生物資源科学部(学士(生物資源学))では、「日本大学教育憲章」(以下、「憲章」)を基に、卒業の認定に関する方針として示された8つの能力(コンピテンシー)を養成する。この目的を達成するために、教養教育科目、基礎専門科目、専門教育科目等の授業科目を、設定された各能力別に体系化し、講義・演習・実験・実習等の多彩な学修方法による教育課程を編成して実施する。

学修の成果は、シラバスに明示された到達目標の達成度について、授業形態や授業手法に適した多面的な方法により評価する。「憲章」に示される「日本大学マインド」および「自主創造」の3つの構成要素に関連した8つの能力に関しては、授業内容に対する到達度に加えて、学生自身による振り返り等も考慮して総合的に判定する。

日本大学教育憲章 (「自主創造」の3つの構成要素及びその能力)		卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針	科目 [学年]
構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)	構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)		
豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。	豊かな教養と生命・食料・資源・環境に関する幅広い知識に基づく高い倫理観	[DP1]豊かな教養と生命・食料・資源・環境に関する幅広い知識に立脚した高い倫理観を身につけ、健康で快適な生活、自然環境の保全・修復に貢献できる。	[CP1]教養教育科目、基礎専門科目、各学科専門教育科目による体系的な学びを通じて、豊かな教養と生命・食料・資源・環境に関する幅広い知識と高い倫理観を培い、健康で快適な生活や生態系の維持など、自然環境の保全・修復に貢献できる能力を育成する。	
世界の現状を理解し、説明する力	世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。	日本や国際社会が直面している生命・食料・資源・環境に関する諸問題を理解し、説明する力	[DP2]日本や国際社会が直面している生命・食料・資源・環境に関するさまざまな問題を理解し、説明することができる。	[CP2]教養教育科目、基礎専門科目、各学科専門教育科目による体系的な学びを通じて、日本や国際社会が直面している生命・食料・資源・環境に関するさまざまな問題を理解し、説明できる能力を育成する。	
論理的・批判的思考力	得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。	情報処理力・論理的・批判的思考力	[DP3]生物資源科学に関するあらゆる情報を収集して総括し、論理的・批判的な思考をすることができる。	[CP3]教養教育科目の自然系科目や各学科専門教育科目の講義科目等の体系的な学びを通じて、生物資源科学の各分野に関連するさまざまな情報を統合し、論理的・批判的に思考できる能力を育成する。	

日本大学教育憲章 （「自主創造」の3つの構成要素及びその能力）		卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針	科目 〔学年〕
構成要素 （コンピテンス）	能力 （コンピテンシー）	構成要素 （コンピテンス）	能力 （コンピテンシー）		
問題発見・解決力	事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	問題発見・解決力	〔DP4〕日本や国際社会が直面している生命・食料・資源・環境に関するさまざまな問題を発見し、解決策を提案することができる。	〔CP4〕講義科目の内容に対応する実験・実習・演習科目を一体化させた特徴的なカリキュラムによる体系的な学び「総合的フィールドサイエンス教育」を通じて、日本や国際社会が直面している生命・食料・資源・環境に関するさまざまな問題を自ら発見し、解決策を提案するための能力を育成する。	
挑戦力	あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。	挑戦力・成し遂げ力、社会貢献	〔DP5〕学問および科学の発展に寄与するために、自らが設定した課題に果敢に挑戦し、調査・実験などにより得られた研究成果を発信することができる。	〔CP5〕「総合的フィールドサイエンス教育」に立脚した学部教育の集大成である「卒業研究」を通じて、自らが設定した課題に果敢に挑戦し、調査・実験などの研究成果を社会に発信できる能力を育成する。	
コミュニケーション力	他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。	コミュニケーション力	〔DP6〕生物資源科学に関する英語や日本語の文献、情報を調査して他者の意見を理解し、自分の考えを伝えることができる。	〔CP6〕教養教育科目、基礎専門科目、各学科専門教育科目（語学系・演習系科目）の体系的な学びを通じて、語学力、国語力、自己表現力、コミュニケーション能力を育成する。	
リーダーシップ・協働力	集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	協働・連携力、リーダーシップ	〔DP7〕生物資源科学に関連するさまざまな分野の人々と連携・協働すること、リーダーシップを発揮して他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	〔CP7〕教養教育科目、基礎専門科目、各学科専門教育科目（実験・実習・演習科目におけるグループワーク）を通じて、生物資源科学に関連するさまざまな分野の人々と連携・協働する能力、専門知識を活用してリーダーシップを発揮し、連携・協働者の活躍を支援するための力を育成する。	
省察力	謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。	省察力	〔DP8〕地域社会、日本及び世界における生命・食料・資源・環境をめぐる人間活動において、自己の立場と役割を認識し、生物資源科学に関わるさまざまな活動に貢献することができる。	〔CP8〕教養教育科目、基礎専門科目、各学科専門教育科目による広範かつ主体的な学びにより、幅広い視野と深い洞察力を培い、地域社会、日本及び世界における生命・食料・資源・環境をめぐる人間活動の中での自己の立場や役割を認識し、自己を高めて生物資源科学に関わるさまざまな活動に貢献するための能力を育成する。	

以上